**小泉 紫峰 （こいずみ・しほう）**

**１、プロフィール**

川柳作家。大正13年川柳入門。中央誌「川柳研究」で活躍。昭和８年「はちのへ川柳社」結成。八戸地域の川柳発展に尽力した。

＜生没＞

1908（明治41）年２月16日～2003（平成15）年６月18日

＜代表作＞

川柳句集「すて石」（昭和37年刊） 「苔の花」（昭和40年刊）

＜青森との関わり＞

三戸郡福地村に生まれる。八戸市に在住し種苗店を営む。

**２、作家解説**

明治41年三戸郡福地村に誕生。本名林之助。地引高等小学校卒。卒業後、野辺地町野坂与治兵衛家に奉公する。昭和８年八戸市で種苗、雑貨、食料店を開業。

大正13年岡田飛魂のすすめで川柳入門、野辺地川柳会に入会。昭和５年ひづめ吟社同人。昭和７年川柳隊同人。昭和８年川柳不毛の地八戸市にはちのへ川柳社を佐藤逢月・太田順晃・吉田互苦労・西塚春魚等と結成初代代表となる。昭和16年機関誌「川柳はちのへ」を創刊。昭和23年、誌名を改号し「うまっこ」創刊。この間昭和16年、中央誌「川柳研究」幹事となり活躍。昭和57年はちのへ川柳社創立50周年を期に会長を退く。北日本川柳大会を開催するなど結社を超えた活動をする。主に八戸地域の川柳発展に尽力、多数の柳人を育成した。また青森県川柳社の重鎮でもあった。昭和38年八戸市文化賞受賞。平成６年県文化賞受賞。

句碑は３基建立される。

昭和57年「知る人ぞ知るすて石になれる幸」（八戸市長流寺境内）

平成元年「収穫へたね屋の知恵も感謝され」（小泉種苗開発農場内）

平成10年「記念樹が天にそびえて日々平和」（八戸公園こどもの国）

**３、資料紹介**

〇「すて石」

図書

1962（昭和37）年２月10日

185㎜×125㎜

川柳句集。著者の第１句集で川柳入門時より昭和37年までの作品をまとめた句集。序文を川上三太郎はじめ六大家の内３人が寄稿している。編集人西塚春魚。発行人小泉紫峰。発行所はちのへ川柳社。

〇「苔の花」

図書

1965（昭和40）年12月5日

180㎜×130㎜

川柳句集。著者の第２句集で、第１句集後から昭和40年までの246句を集録。第１回八戸文化褒賞受賞記念に刊行された。編集兼発行人西塚春魚。発行所句集“苔の花”刊行会。